



コロナ禍 福岡県・福岡市のいま

緒方信明

緊急事態措置を9月30日で解除

2021年9月29日、政府は緊急事態措置を9月30日で解除することを決定した。福岡県も感染状況等を踏まえ、福岡コロナ特別警報も解除し、福岡コロナ警報へ移行することを決定した。その後、1日の感染者数が15日連続で50人を下回り、病床の使用率は8%と解除基準の20%をはるかに下回り、独自に出しているコロナ警報も解除し、県内の飲食店に求めている営業時間短縮の要請などを10月14日で終了することを決定した。

公民館は、10月より開館し、3密の回避+換気を前提に、人数制限を行いながら、乳幼児、子ども、高齢者などを対象にした事業を再開した。会議については、後期高齢者が多く、Zoomを使った会議より対面の会議を望む声が多く出された。

機関誌「新しい薬学をめざして」2021年2月1日号¹⁾で、コロナ禍における年末から年始

にかけての公民館などの状況を報告したが、その後の状況について報告したい。

1. 福岡県のこの間の経過²⁾

1月14日～2月7日、緊急事態宣言

2021年に入ってもコロナの新規陽性者数は増加傾向で、福岡県では、1月14日から2月7日までの約1か月間、緊急事態宣言が出された。期間中、公民館は閉館を免れたが、多くの行事が中止を余儀なくされた。

緊急事態宣言後、図1に示されるように、新規陽性者数は少しずつ減少傾向がみられ、感染の収束が期待されたが、4月に入り状況は再び悪化した。



図1. 新型コロナウイルス感染症発生状況等²⁾ (福岡県新型コロナウイルス感染症対策本部より)

そのため、福岡県では、引き続き不要不急の外出自粛や飲食店等に対する営業時間の短縮など、まん延防止等重点措置に準じる措置が取られた。にもかかわらず、新規陽性者数は高い水準で推移し、病床使用率上昇の恐れもあることから、5月1日にまん延防止等重点措置を国に申し入れた。国は、福岡県に対し緊急事態措置を実施すべき区域とし、その期間を5月12日から31日までとすることを決定した。

福岡県では、5月7日に県民、飲食店、集客施設、事業者、学校、県有施設などに対する自粛要請や催物、県主催イベントの開催に対する考え方を表明した。

それにともない公共施設である公民館も休館という事態となった。公民館では、5月12日からの緊急事態宣言期間中、休館であることを公民館だよりや公民館ブログを通じて校区住民に知らせ、Zoomによる会議を実施できる場合は、積極的に行った。

5月12日～6月20日 緊急事態宣言

5月12日の緊急事態措置開始以降、不要不急の外出自粛や事業者の休業・営業時間短縮などの効果が見え始め、新規陽性者数は5月12日に過去最多の634人になったものの、以後、漸次減少した。

しかし、5月末の時点で、未だ1日200人前後の高い水準で推移し、国の分科会が示すステ

ージ判断指標の4に留まっていること、繁華街への人出が昨年4月から5月の緊急事態宣言時に比べ大幅に増加していること、感染性が強い変異株にほぼ置き換わっていることなどから、感染収束に至るまでの期間が長期化する傾向が見込まれた。

また、医療提供体制については5月27日時点の病床使用率が67.9%、重症病床使用率が47.6%と高く、医療機関への負荷が大きい状態が継続していた。福岡県は、5月31日をもって緊急事態措置を解除することは困難であると判断し、期間を6月20日までとすることを5月28日に決定した。

その後の経過を下記に示す。

- ・(6月17日発表) 緊急事態措置からまん延防止等重点措置への移行について
国の分科会指標のステージ2相当に下がっている、6月16日時点の病床使用率が30.4%、重症病床使用率が22.2%に低下していることなど
- ・(7月8日発表) まん延防止等重点措置の解除と今後の対応について
7月7日時点の病床使用率は9.6%、約8か月ぶりに10%を下回っている。
- ・(7月15日発表) 「福岡コロナ警報」の見直しについて
感染のリバウンドの兆候が見られた場合、迅速かつ適切な対応を可能とするため
- ・(7月28日発表) 「福岡コロナ警報」の発動について
新規陽性者数と病床利用率の指標が警報の目安を上回っている。
- ・(7月30日発表) まん延防止等重点措置の実施について
まん延防止等重点措置の対象区域に追加されたことを受け、8月2日から31日まで。
- ・(8月5日発表) 「福岡コロナ特別警報」の発動および国への緊急事態措置の適用の要請
8月4日に、新規陽性者数が過去最多の752人となり、「福岡コロナ特別警報」の発動と国に対し本県に緊急事態措置を適用するよう要請した。

8月20日～9月30日 緊急事態宣言

- ・(8月17日発表) 緊急事態措置の実施について
国の分科会が示すステージ判断指標の7つのうち5つがステージ4相当に該当していることから、8月20日から9月12日まで、緊急事態措置を実施することを決定した。
- ・(9月9日発表) 緊急事態措置の延長について
政府対策本部が緊急事態宣言の延長を決定したことを受け、緊急事態措置を9月30日まで延長することを決定した。
- ・(9月28日発表) 緊急事態措置の解除と今後の対応について
国が、緊急事態措置を実施すべき区域から福岡県を解除することを決定したことを受け、緊急事態措置を解除したが、10月1日以降も必要な措置を継続し、感染防止対策を徹底した。
- ・(10月11日発表) 福岡コロナ警報の解除と今後の対応について
国の分科会が示すステージ判断指標に対し、すべての指標がステージ2相当以下に改善しており、「福岡コロナ警報」は10月14日をもって解除した。これに伴い、飲食店への営

業時間の短縮、カラオケ設備の利用自粛といった要請も解除した。

2. 福岡市・公民館の状況³⁾

2021年度に入って、初めての緊急事態宣言期間は5月12日～5月31日であったが、6月20日までの延長となった。同時に、新型コロナワクチン接種予約が困難な65歳以上の方を対象に、6月2日～15日の2週間、福岡市内公民館全館に福岡市職員が出張して、予約のサポートを行うことを表明した。

緊急事態宣言期間、公民館は休館と決まっていたが、予約サポートのため公民館を特例で開けることになった。予約サポート以外の利用は休止された状態であった。5月29日のうちに、講堂を予約サポート会場用にセッティングした。

6月2日の初日、予約サポートを必要とする来館者はゼロであった。予約サポートを校区の方に知ってもらうために、福岡市のポスターを少しアレンジしたものを、各自治会の掲示板に張り出してもらった。効を奏してか、その後、公民館に歩行器を利用しながら高齢の女性が訪れ、電話による問い合わせや相談が複数件みられた。

その後、公民館は一定の制限を受けながら活動を続けたが、8月8日の活動を最後に、8月20日～9月30日まで閉館状態となった。公民館では、事務処理があるものの、誰一人訪ねて来ない公民館の存在って、何だろうという感情を持った。

3. 福岡市におけるワクチン接種⁴⁾

2021年4月27日、福岡市は65歳以上の市民に対し、接種券を一斉送付した。5月12日から75歳以上の方に先行予約を開始した。さらに、5月19日から65歳以上の方を対象に予約受付を開始した。予約開始当初、予約のコールセンターでは電話がつながりにくい状態が続いたが、だんだんと落ち着いてきた。

「集団接種」は5月13日から土曜を含めて毎日、マリンメッセ福岡B館（博多区）で実施し、「個別接種」は5月24日から市内750か所の医療機関が対応した。「出張接種」は、高齢者入所施設約600カ所を対象とし、5月10日以降、準備が整った施設から順次実施した。

公民館の近くにワクチン接種指定医療機関がある。ワクチンの廃棄を防ぐために、当日キャンセルが出た場合、公民館のネットワークを通じ、予約が済んでいない方に連絡して接種につなげるなどの事例があった。また、中にはダブル予約を行い、日程の早い方を選択する話も聞いた。医療機関にキャンセルの連絡を忘れる人がいて、医療機関側が連絡してみたら、すでに接種したことを告げられることもあったと聞く。医療機関の予約受付担当者にとっては、夢に出るくらい実際の業務が大変のようだ。

私の周りでは、かかりつけ医療機関などを利用して予約と接種を済ませ、問題は起きなかった。

4. 自分の体験や思い

小さい頃、膝の裏側など汗が溜まりがちな部位に汗疹や汗かぶれができていた。中耳炎にかかり、その時に服用した抗菌薬により、発疹ができたかもしれない。記憶が曖昧だが、小さ

い時から体質的に皮膚が弱く、薬に対する副作用も出やすく、皮膚疹を繰り返していた。

中学1年生の時、日本脳炎ワクチンを接種した後、全身に蕁麻疹が発症し、数か月間、皮膚科に通院した記憶がある。以来、ワクチン接種に対するアレルギーを持つことになった。

今も、季節性および接触性による蕁麻疹や皮膚疹が出やすい体質は変わっていない。その関係で、インフルエンザワクチンや肺炎球菌ワクチンも接種していない。今のところ、新型コロナワクチンを接種する予定を立てていない。

2021年6月9日に行われた第61回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会⁵⁾において、2021年2月17日から6月4日まで、コミナティ筋注(ファイザー株式会社製)による副反応疑いで死亡として報告された事例が約200件あったと報告されている。

そのうち2月17日から5月30日までの139件の死亡について評価検討された。症状として心臓障害、くも膜下出血、脳出血など血管に障害を来す疾患が特徴だ。情報不足等により、ワクチンと症状名との因果関係が評価できないと公表しているが、死亡の事実は厳粛に受け止めるべきである。

連日、ワクチンの接種率が報道され、私の周りでもワクチン接種の話題が持ちきりだ。私みたいに、ワクチンを接種しない人間、あるいはできない人間は静観するのみである。ただ、予防のための工夫は行っている。毎夕・朝食後、三七宝漢方製剤2粒、板藍茶、松葉茶などを一緒に飲み、免疫力の維持や弾力性のある血管になるように努めている。他に、ヨーグルトに抹茶、豆乳に青汁を混ぜたものを積極的に摂っている。

新型コロナウイルスの怖さは、インフルエンザウイルスと異なり、急激に症状が進行し、重症化し、重症者が増加して人工呼吸器や体外式膜型人工肺 (ECMO) をはじめとする医療供給物質が不足する医療崩壊が起きやすいことだ。

経口治療薬の利用は間近だろうが、われわれ一般市民に出来る事は、マスクの着用、手洗いやアルコール消毒、人混みを避け、換気の徹底が必須であることは言うまでもない。

参考資料

- 1) 緒方信明 コロナ危機のなかで迎えた2021年「新しい薬学をめざして」Vol.50 No2, 36-38 (2021).
- 2) 福岡県 新型コロナウイルス感染症ポータルページ
<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/covid-19-portal.html>
- 3) 福岡市 新型コロナウイルス感染症に関する情報 (トップページ)
<https://www.city.fukuoka.lg.jp/hofuku/hokenyobo/health/kansen/nCorV.html>
- 4) 福岡市 新型コロナウイルスワクチンの接種について
<https://www.city.fukuoka.lg.jp/hofuku/coronavaccine/wakutin.html>
- 5) 第61回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会, 令和3年度第9回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会
2021(令和3)年6月9日 <https://www.mhlw.go.jp/content/10906000/000790071.pdf>
(おがた・のぶあき 福岡市在住) 連絡先 (E-mail: nbstretch@yahoo.ne.jp)